

令和4年度

伊勢市わがまち写真コンクール

入賞作品集

令和4年度「伊勢市わがまち写真コンクール」入賞作品

【最優秀賞】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
皇學館中学校	3	平本 修一朗	おはらい町と夏つばめ	おはらい町

【優秀賞】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
—	—	門谷 若次	赤提灯	伊勢市吹上町
皇學館中学校	2	東村 虹都	松尾観音橋	松尾観音橋
皇學館中学校	3	石田 奈々	伊勢のヒカリ	宇治山田駅構内

【入選】

学校名	学年	氏名	作品名	場所
—	—	東出 幸子	海苔の養殖筏	二見町松下 伊勢二見鳥羽ライン
—	—	角田 浩隆	枯れ色から一転、黄金色の大地	大仏山公園 冒険の丘
—	—	大田 明弘	桂林寺の石垣	伊勢市横輪町
—	—	山下 和宏	ごまさん	伊勢市 世義寺
—	—	山口 一明	昔ながらの塩づくり	伊勢市二見町
—	—	松林 信雄	水面に映る橋と桜	五十鈴公園
—	—	板谷 一行	春爛漫	宇治館町
—	—	花川 雅人	河崎・川の駅	河崎・川の駅
—	—	三木 伸吾	平和の礎	伊勢市旭町やすらぎ公園内
皇學館中学校	3	小野 万平	飛び石	伊勢市宇治今在家町

〈総評〉

この写真コンクールの特徴ですが、その募集要領にテーマが設定されていて、「わたしが思う伊勢市の素敵な景観」とあります。例として「まちなみ、自然風景、歴史的建築物、来訪者におすすめしたい場所など」とされています。こういった素敵と感じる場所の写真を撮ってもらうことで、景観に親しみを持ち、大切さに気づき、新たに発見してもらうことを目的としています。

今年、本コンクールへの応募者数、作品数は、いずれも去年の2倍を超えました。本コンクールに関心を持ってくださる方、つまり伊勢市の素敵な景観に関心を持ってくださる方が倍増したことはとても嬉しく思います。

コロナ禍に見舞われて2年が過ぎ、ソーシャルディスタンスや手洗いの推奨といったことは続くものの、少しずつ、姿を変えながらも人と人とのつながりが戻ってきたように思います。昨年、一昨年は「新型コロナウイルスで寂しい」光景や、そういった主旨の応募もありましたが、今年は作品に元気や光がみなぎってきたように感じました。

同じものを見ても、心の持ちようでその印象は変わります。「素敵な景観」と感じるその心と眼差しで、これからも伊勢市を見つめていただきたく願います。

向原 知宏

【最優秀賞】



おはらい町と夏つばめ

(撮影場所) おはらい町

平本 修一郎

【コメント】

朝早くのおはらい町は昼頃とは違って人がおらず、代わりにつばめがいるんじゃないかなーと思って撮影しました。

【選評】

俳句で「つばめ」は春の季語ですが、「夏つばめ」とすると夏の季語になるそうです。早朝の斜めからの日差しや素晴らしい青空、少し濡れたような路面と合わさって、夏つばめの姿が映える作品です。

お昼ころにはこの道に、お客さんが多数歩いて賑わいをみせるだろうこと、コロナ禍や国同士の争いが報道される昨今、この光景が壊されることなく続いてほしいこと、この1枚の写真からいくつもの想いが湧いて出てきました。この姿を「素敵な景観」と感じる心と眼差しを持ち続けてほしいと願います。

【優秀賞】



赤提灯

(撮影場所) 伊勢市吹上町

門谷 若次

【コメント】

わがまちにもこんなレトロなところがある。
一度食べに行きたい、飲みに行きたいねえ。

【選評】

審査委員（オジサン）が負けてしまう光景です（笑）。伊勢市駅前の伊勢マーケットでの一枚です。

写真ではアーケード通りを歩くお客さんこそ少ないですが、若い方が新しいお店を立ち上げたりして、活気のある場所だと思います。タイトルにある「赤提灯」と、座って何か話しているお客さん、こちらに歩いてくるお客さん、壁に書いてある「KEEP ON なんとか」、全てが魅力的な光景です。最優秀賞と同様、この光景もずっと続いてほしいと願わずにはられません。

【優秀賞】



松尾観音橋

(撮影場所) 松尾観音橋

東村 虹都

【コメント】

登下校時に見る光景が好きなので、この光景を撮影しました。
撮影をするときにどうすればいつも自分が見ている光景で撮れるかと考えながら撮影しました。

【選評】

登下校時に毎日見ておられる光景ですが、毎日のことだと、特徴があっても印象がなくなりがちです。しかし、東村さんはしっかりとそれを「いつも自分が見ている光景」として撮影されています。赤い松尾観音橋が印象的で、眼下に見える道路や素晴らしい青空とも相まって力強い作品になっています。この画面構成に工夫が感じられました。

卒業しても、この光景を「素敵」と感じる感性と、どうすれば思ったように撮れるか考えることを忘れずにいてほしいと願います。

【優秀賞】



伊勢のヒカリ

(撮影場所) 宇治山田駅構内

石田 奈々

【コメント】

毎日の通学で綺麗だと思っていたからです。

なんとかして、両側の窓枠、柱の模様、10個の照明を1枚におさめることができました。


【選評】

伊勢市には国の登録有形文化財がいくつかあり、宇治山田駅はその一つです。外観や構造にも特徴があるなか、構内に着目し、「なんとかして、両側の窓枠、柱の模様、10個の照明を1枚におさめ」ています。

かなりの広角（広い範囲が写る）レンズで撮影されたと思いますが、このレンズは広く写りこむため、一つ一つのものが小さく写ってしまい、主題がボヤけてしまいがちです。しかし「なんとかして撮りたい」を現実のものとし、乗降客がまず見る「ヒカリ」、ひいては伊勢を代表する「ヒカリ」を表現した、いい作品だと思います。

【入選】

	<p>海苔の養殖筏</p>
	<p>(撮影場所) 二見町松下 伊勢二見鳥羽ライン</p>
	<p>東出 幸子</p>
<p>【コメント】 私達の身近な食卓で当たり前のように食べられる幸せ。 この景観と海苔の緑の色合いが美しい。 海苔作りの伝統が続いてほしい。</p>	

	<p>枯れ色から一転、 黄金色の大地</p>
	<p>(撮影場所) 大仏山公園 冒険の丘</p>
	<p>角田 浩隆</p>
<p>【コメント】 まだ緑生い茂るには早い3月の頃。 草木は枯れ色に覆われ、さらには曇天で日も陰り寂しさを感じる一面。 太陽を覆う雲が切れ、光が差し込んだその瞬間。 枯れ色の大地が黄金色に輝き、一転した神々しい世界に息を呑みました。</p>	

【入選】



桂林寺の石垣

(撮影場所)
伊勢市横輪町

大田 明弘

【コメント】

長さ約 50m、高さ約 3m の石垣は伊勢市内でも最大規模。
約 170 年前の重機もない時代の傑作に心打たれました。



ごまさん

(撮影場所)
伊勢市 世義寺

山下 和宏

【コメント】

日本三大護摩法要の一つ世義寺の柴燈大護摩（さいとうだいごま）です。
家内安全を祈って、ごま木をいただてきました。

【入選】

	<p>昔ながらの塩づくり</p>
<p>(撮影場所) 伊勢市二見町</p>	
<p>山口 一明</p>	
<p>【コメント】 伊勢神宮で使用する御塩を海水から精製する昔ながらの入浜式製法、いつまでも後世に残して頂きたいとの思いがあります。</p>	

	<p>水面に映る橋と桜</p>
<p>(撮影場所) 五十鈴公園</p>	
<p>松林 信雄</p>	
<p>【コメント】 地元の人が憩う小さな公園ですが特に桜の時期は小さな名所になると思うので</p>	

【入選】



春爛漫

(撮影場所)
宇治館町

板谷 一行

【コメント】

五十鈴川沿いの古木と満開の桜と参拝客の姿に春を感じて



河崎・川の駅

(撮影場所)
河崎・川の駅

花川 雅人

【コメント】

河崎散策の途中、勢田川を眺めながらレトロな駅舎でひと休み。

【入選】



平和の礎

(撮影場所)
伊勢市旭町
やすらぎ公園内

三木 伸吾

【コメント】

恒久平和を祈念するやすらぎ公園内の平和の礎は後ろから見たフォルムも素敵でした。



飛び石

(撮影場所)
伊勢市宇治今在家町

小野 万平

【コメント】

小さいころにおばあちゃん行って、初めて戦争のことを聞いた場所なので記憶に残っていたからです。空気も美しく水も浅いので遊べます。